

第3章 対象地区におけるまちづくりの課題

1. 対象地区における解決すべき課題

① 対象地区における問題解決とニーズへの対応へ向けた視点

対象地区は、土地区画整理事業による住宅地や商業地としての環境整備が行われています。また、JR行田駅と中心市街地間は、地域公共交通によるネットワーク※が形成されているほか、周辺の幹線道路整備が概ね完了しており、自転車や自動車などによるアクセス※も良く、交通利便性が高いという特性があります。

JR行田駅は、通勤・通学利用者をはじめ、来訪者にとっての玄関口となっており、対象地区は多くの人々が行き交う場としての役割を担っています。

これらの特性を更に活かし、発展を図る上では、改善すべき問題や様々なニーズへの対応が必要です。

このため、今後のまちづくりにおいては、JR行田駅の利便性を最大限に活かした『快適』性を高め、南の玄関口として『交流』と『にぎわい』、市民や来訪者が行田らしさを感じる『まち並み』を創出し、『安心・安全』な住みよい環境をつくるため、まちづくりにおける5つの視点から問題解決やニーズへの対応に向けた取組みが必要となっています。

② 「快適」に関する解決すべき課題



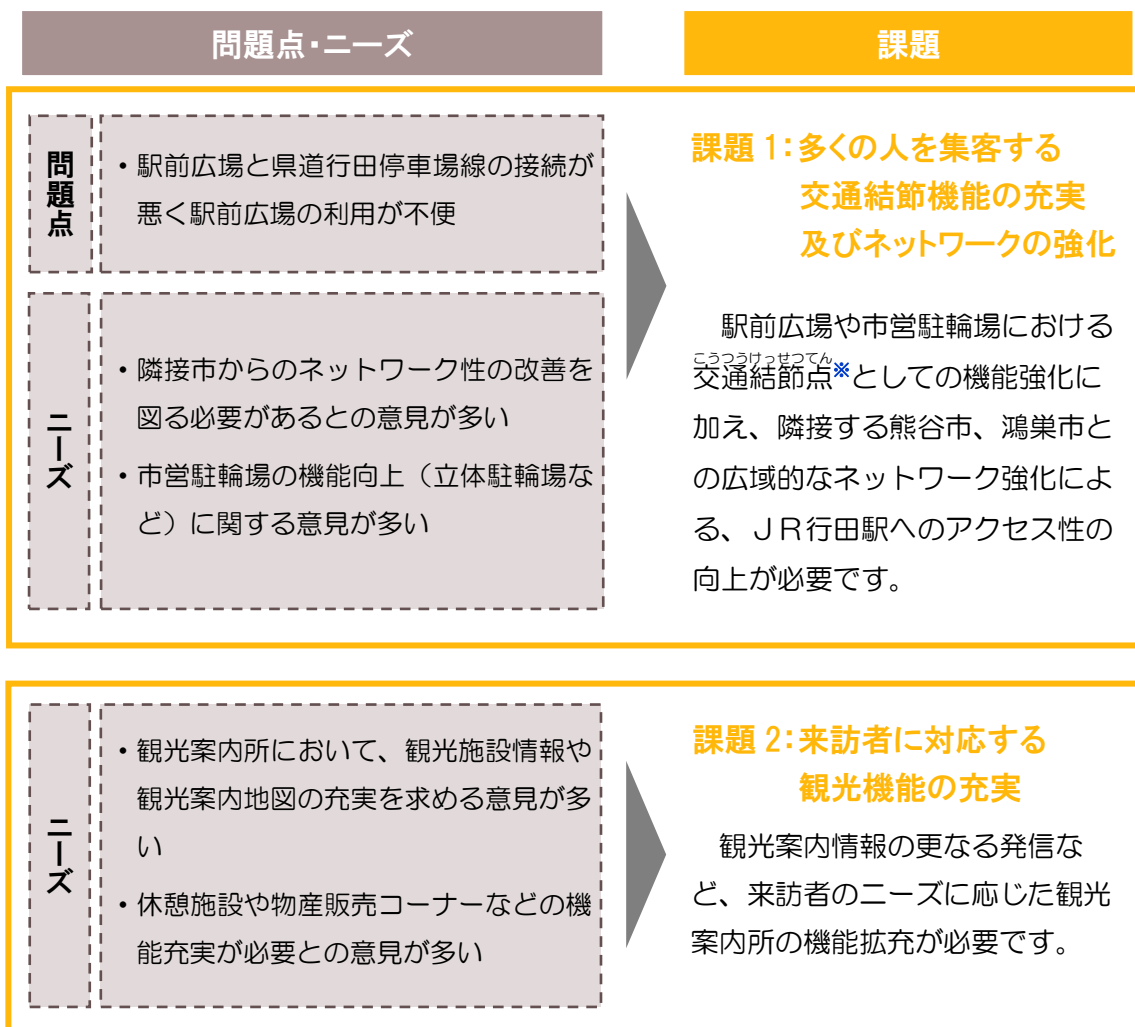
地域住民や来訪者などの利便施設の誘導や移動手段の確保など、快適性の確保において、次のような課題が生じています。

問題点・ニーズ		課題
<p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 小売店舗や飲食店などの商業施設が少なく、日常生活の買い物や飲食が不便 	<p>ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅近くに、行政サービス（住民票交付機能、子育て支援施設、コミュニティ施設など）の充実に関する意見が多い 	<p>課題 1: 誰もが快適に利用できる駅前広場周辺の生活利便機能の充実</p> <p>多くの人が集まる鉄道駅周辺としての立地特性を活かし、行政サービス機能や商業施設などの生活利便機能^{せいかつりべんきんのう}の集積による利便性の向上が必要です。</p>
<p>ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内循環バスの増便や運行経路（路線）を見直しを行う必要があるとの意見が多い 観光シーズンは観光シャトルバスの増便が必要との意見が多い 駅前広場にタクシーの待機車両台数を増やすことが必要との意見が多い 	<p>課題 2: JR行田駅から市内主要施設などへのアクセス性（交通利便性）の向上</p> <p>JR行田駅と中心市街地や主要な観光地間を快適に周遊できるバス・タクシーなどの地域公共交通による、アクセス性の向上を図ることが必要です。</p>	
<p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 小売店舗や飲食店などの商業施設が少なく、日常生活の買い物や飲食が不便 	<p>課題 3: 日常生活で利用できる沿道型商業施設の誘導</p> <p>日常的な買い物などにおける快適性を向上するため、県道行田停車場線沿道や鴻巣市北新宿方面へ繋がる市道沿道については、商業施設の誘導が必要です。</p>	

③ 「交流」に関する解決すべき課題



南の玄関口としての交通結節機能や観光機能の充実による交流の促進において、次のような課題が生じています。



④ 「にぎわい」に関する解決すべき課題



多くの人々が居住することによるにぎわいに加え、地域住民や来訪者が集い、憩う場でのにぎわいの創出においては、次のような課題が生じています。

問題点・ニーズ		課題
問題点	<ul style="list-style-type: none"> 宅地化が進まず、駐車場や空き地が増えており、にぎわいが不足している 	<p>課題1: 居住促進に向けた環境づくり</p> <p>多くの人々が住みたくなる良好でゆとりある住環境を形成し、居住人口の維持・増加を図ることで、地域コミュニティ※のにぎわいを創出する必要があります。</p>
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場などでイベントなどを開催し、来訪者と交流できる場の形成が必要との意見が多い 	<p>課題2: 駅前広場でのにぎわい空間の創出</p> <p>駅前広場でのイベントなどの開催により、誰もが楽しむことができる憩いの場の形成が必要です。</p>
問題点	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の憩いの場である壱里山公園の利用者数が少ない 	<p>課題3: 地域住民の憩いの場の形成</p> <p>壱里山公園について、健康増進や子供の遊び場などとして、多くの人々が多目的に利用できる憩い空間の形成が必要です。</p>
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 壱里山公園は、遊具や緑の充実を図ると良いとの意見がある 	

⑤ 「まち並み」に関する解決すべき課題

まち並み

良好な住環境の形成や南の玄関口として行田らしさを感じるまち並みの形成において、次のような課題が生じています。

問題点・ニーズ	課題
<p>ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅地などの緑化整備によるゆとりある住環境の形成が必要との意見が多い 	<p>課題1: 緑豊かなまち並み景観の形成</p> <p>住宅地や工業地周辺において、地域住民の生活にゆとりと潤いを与える緑化などのまち並み景観が必要です。</p>
<p>ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前広場について、来訪者が行田らしさを感じるようなモニュメントなどを設置すべきとの意見が多い 	<p>課題2: 駅前広場における行田らしさを感じる景観形成</p> <p>駅利用者が行田の歴史や文化を感じることができる、南の玄関口にふさわしい景観形成が必要です。</p>
<p>ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 植栽や植樹などの緑化整備に加え、駅前のシンボル通りとしての、さらなる景観整備が必要との意見が多い 	<p>課題3: 中心市街地へと続く駅前通りにおけるシンボリックな景観形成</p> <p>県道行田停車場線は、JR行田駅と中心市街地を結ぶシンボル通りとして、多くの人に親しまれる景観形成が必要です。</p>

⑥ 「安心・安全」に関する解決すべき課題



駅前広場や生活道路での安全性の向上と、対象地区内の防災や防犯などの安心の確保において、次のような課題が生じています。

問題点・ニーズ	課題
<p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場内の車道を歩行者が横断し、危険な状況である ・駅前広場内に乗車・降車・通過車両が混在して危険な状況である ・県道行田停車場線の歩道に一部未整備区間があり、危険な状況である 	<p>課題 1: 駅前広場や生活道路における安全な交通環境の整備</p> <p>駅前広場における歩行者・車両ともに安全に通行・走行できる動線^{せん}※の確保に加え、対象地区内の生活道路において誰もが安全に利用可能な交通環境への改善が必要です。</p>
<p>ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の住宅地内の道路などについて、照明が少なく防犯上危険であるとの意見が多い 	<p>課題 2: 誰もが安心して暮らせる環境整備</p> <p>住宅地内における防犯性の向上により、誰もが安心して暮らせる環境形成が必要です。</p>
<p>ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難場所や活動拠点の整備に関する要望がある 	<p>課題 3: 災害に備えた環境整備</p> <p>荒川氾濫時や地震発生時に避難できる場所、活動拠点となる場所を確保するなど、災害に備えたまちづくりが必要です。</p>